

報道関係各位	発信年月日	令和4年10月18日			
担当部課名	担当課長名	担当者職氏名		連絡先電話番号	
市民部 市民活動推進課	河上 雄治	主事 山土 江里奈		(0836) 82-1137	
件名	令和4年度山口県女性活躍推進知事表彰 女性のチャレンジ賞受賞に係る市長表敬訪問				
内 容					
<p>標記の件につきまして、下記のとおり表敬訪問されますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 10月28日（金） 13:00～13:30</p> <p>2 場所 山陽小野田市役所2階 市長応接室</p> <p>3 来訪者 池本 美和（イケモト ミワ）様（きららガラス未来館講師）</p> <p>4 その他 池本 美和 様 経歴 別紙のとおり</p> <p>※山口県女性活躍推進知事表彰（平成28年度～） 様々な分野・地域で活躍する女性等の功績を称え、ロールモデルを示すことで、県民の理解と関心を高め、女性の活躍を促進する。</p> <p>（1）女性のチャレンジ賞 起業、NPO 法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで活躍している女性を表彰する。</p> <p>（2）男女共同参画社会づくり功労賞 長年にわたり男女共同参画社会の実現に向けた気運の醸成等に功績のある男女を表彰する。</p>					

FAX 発信者：山陽小野田市企画部シティセールス課
電話 (0836) 82-1148 FAX (0836) 83-9336



▲「Aqua #3」

【略歴】

- 1972年 広島県生まれ
- 1997年 富山市立富山ガラス造形研究所 造形科卒業
- 1997年 財団法人富山ガラス工芸センター所属（2000年まで）
- 1997年 「暮らしに生きる伝統のかほり展」 タカタレムノス(株)コラボレーション優秀賞受賞
- 2001年 「第19回朝日現代クラフト展」 準グランプリ賞受賞
「第3回現代ガラスの美展 IN 薩摩」 審査員特別賞受賞
「第1回現代ガラス展 in おのだ」 準大賞受賞
- 2002年 山口県山陽小野田市へ工房移設
- 2004年 きららガラス未来館講師
- 2005年 山陽小野田市小学生 550人によるガラス絵画制作
- 2006年 山陽小野田市幼稚園・保育園児 311人によるガラスオブジェ制作
- 2012年 「第5回現代ガラス展 in 山陽小野田」 よりスーパーバイザーを務める
- 2015年 「756人による山陽小野田市の自然」 イベント企画、ガラス絵画制作
山陽小野田市文化功労賞受賞
- 2020年 日本ガラス工芸協会会員
- 2021年 第8回現代ガラス展 in 山陽小野田特別作品展 出展（上野の森美術館ギャラリー）
創立50年記念「`21日本のガラス展」東京本展、巡回展 出展
- 2022年 輝く子供たちによるスマイルガラス絵画制作

【業績】

全国の現代ガラス作品コンクールにおいて受賞を果たす中、2001年に開催された「第1回現代ガラス展 in おのだ」で作品「Aqua #3」が準大賞を受賞。その後、山陽小野田市に移住して個人工房を開設し、現在、本市を拠点にガラス造形作家として活動している。

活動内容としては、ガラスアート作品の制作や全国の施設や五つ星ホテルなどの建築空間の企画制作、パブリックアートの企画、デザインなど幅広く作品制作を行っている。とくに建築空間

での制作活動を数多く行っており、老舗フランス料理店、東京銀座レカンでは「Port Toujoursー永遠ー」を制作し、メインダイニングのシャンデリアから個室、テーブルウェアアクセサリーまでトータルプロデュースを手掛けている。また、地域に根差した活動にも精力的であり、書道や音楽など地元の芸術家とのコラボレーション作品制作に取り組むほか、地域でのワークショップなどを行っている。

近年では海外での活動もめざましく、アジアを代表するホテルであるマンダリンオリエンタルホテル上海のロビーの壁面ガラスアート、ザ・リッツ・カールトンホテル西安等、海外へ向けて日本のガラスアートを発信している。

一方で、2004年に山陽小野田市が開設した公設工房「きららガラス未来館」では講師を務め、本格的に吹きガラス制作を学ぶ講座や、気軽にガラス制作体験できる様々な教室を通じて、山陽小野田市に限らず、多くの県民に対して芸術作品としてのガラス作品作りを指導している。2006年開催の第21回国民文化祭・やまぐち「創造・現代ガラス展」ではガラス作家として作品の出品やワークショップの指導に協力。また、山陽小野田市がトリエンナーレ方式で開催している「現代ガラス展 in 山陽野田」では、第5回展（2012年開催）からスーパーバイザーとして作品の展示や各種デザインの制作に関わるとともに、2019年には市の芸術文化アドバイザーに就任し、ガラスに関する各種事業へアドバイスを寄せている。

2015年の「756人によるガラス絵画設置（山陽小野田市民病院）」、2021年の「殖生公民館のリニューアル落成記念事業」では、地域の特色を生かしたまちづくりの一環として、参加型ガラス体験イベントの企画・制作を行い、2022年4月新設された山陽小野田市立ねたろう保育園に、0～5歳児によるガラス絵画の企画・制作を行った。

2021年に山口県央連携都市圏域で開催した「山口ゆめ回廊博覧会」では、日本ガラス工芸協会会員として「創立50年記念 21日本のガラス展巡回展」に作品を出展し、7市町をつなぐリー形式のトークイベント「ゆめはくカフェ」では地域ホストとして登壇、建築家藤原徹平氏と地域の産業とガラス、そこに暮らす魅力を語るオンライン配信や、宇部市植物館開催「つみくさあそび」では、舞台演出家羊屋白玉の「食と演劇」が織り混ぜられた体験型アート作品に参加し、劇中で披露されるガラス作品を制作している。

このように、様々な場面に活動の幅を広げ、山口県を代表するガラス作家のひとりとして、山口県のガラス文化芸術の振興に大きな貢献を果たしている。